

令和 8 年 8 月 7 日
国土交通省中部地方整備局

浚渫兼油回収船「清龍丸」による被災地支援を実施しました

～令和 8 年熊本地震に関する中部地方整備局（清龍丸）の取り組み～
【八代港（熊本県八代市）での支援を終え名古屋港に帰港】

中部地方整備局所属の浚渫兼油回収船「清龍丸」は、7 月 29 日（水）に名古屋港を出港し、熊本県八代港において支援物資の輸送、給水支援および入浴支援を実施してまいりました。

このたび、輸送した支援物資及び水の供給など当初予定していた支援活動を完了し、今後の支援活動を他船へ引き継ぐこととなったため、名古屋港へ帰港します。

1. 活動場所・期間

場所：熊本県 八代港 外港地区岸壁

期間：8 月 1 日（土）～ 8 月 5 日（水）



2. 支援の内容

(1) 支援物資輸送

7 月 29 日（水） 名古屋港にて支援物資を搭載 同日出港

8 月 1 日（土） 八代港到着 支援物資提供

(2) 給 水 支 援

8 月 1 日（土）～ 8 月 5 日（水） 給水車への給水を実施

(3) 入 浴 支 援

8 月 3 日（月）～ 8 月 4 日（火） 一般の方への入浴支援を実施

※支援内容の詳細は、別紙 2 をご参照ください。

3. 帰港場所・日時

場所：名古屋港空見ふ頭 フェリーターミナル南側 V 3 岸壁前（別紙 1 参照）

日時：8 月 9 日（日）～ 10 日（月）（予定）

4. 留意事項

清龍丸の帰港日時は、台風の影響により流動的となっております。このため、現地取材を希望される場合は、8 月 7 日（金）18：00 までに下記お問い合わせ先へご連絡ください（別紙 3）。なお、写真及び動画の提供も可能ですので、ご希望の場合は併せてお問い合わせください。

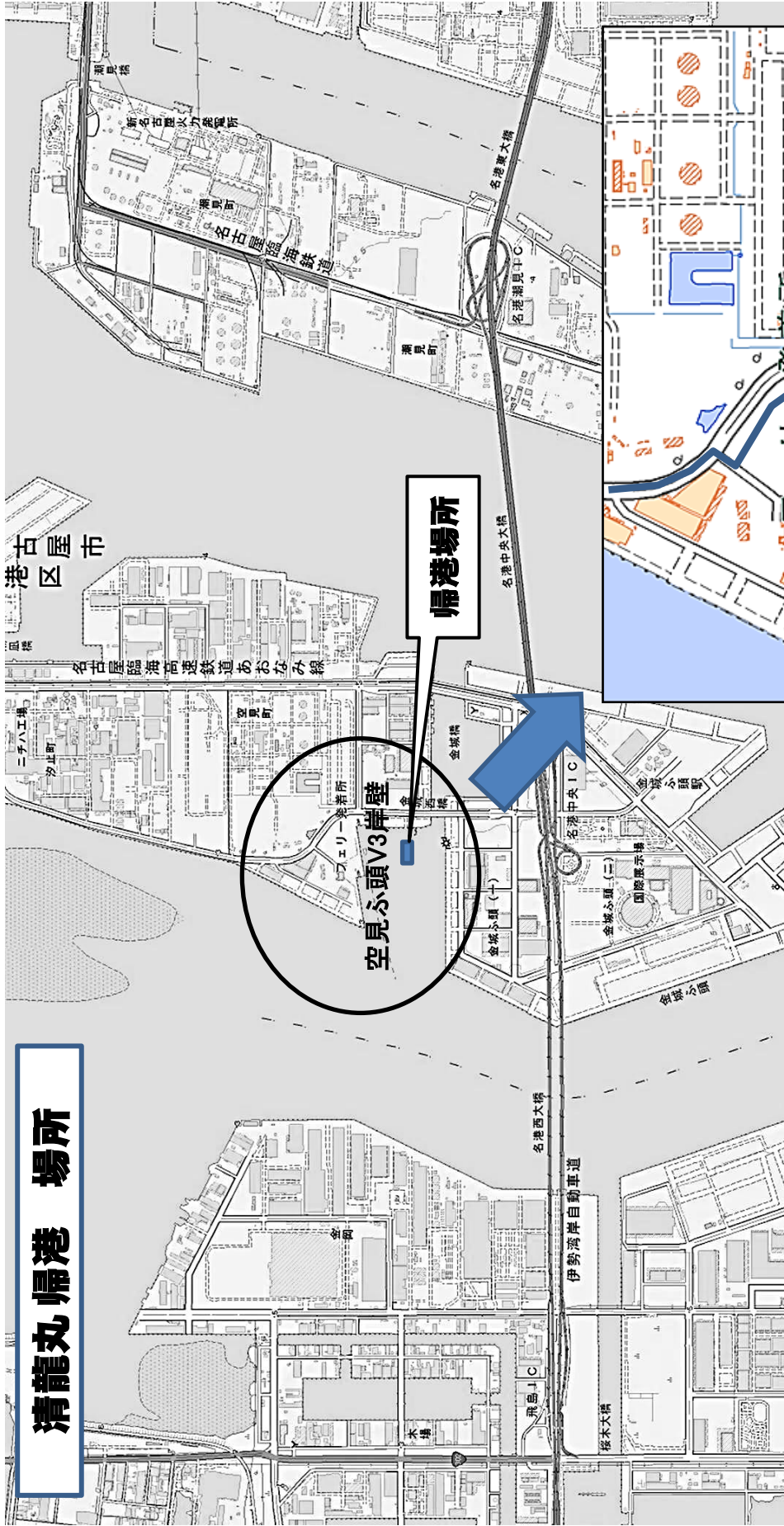
【配布先】

中部地方整備局記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、
海事プレス、マリタイムデーリーニュース

【問い合わせ先】

中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 : 052-209-6328
課長 西尾 賢二 、課長補佐 林 友弥

清龍丸 帰港 場所



フェリーふ頭内は、シャーシやトラレーラが通行しますので、フェリーターミナルに入りましたらハザードランプを点灯させた状態で、徐行運転をお願いします。

- 令和8年熊本地震において、「清龍丸」は、支援物資輸送、給水支援及び入浴支援を実施。
- 7月28日の地震発生を受け、支援物資を積み込み7月29日18時に名古屋港を出港。8月1日8時に八代港に到着し活動を実施。
- 各関係機関の協力を得て、支援物資輸送（飲料水・食料等）を八代市に引き渡し、給水車への水供給（26台、計49m³）及び入浴支援（利用者173名）を行った。

〈支援物資輸送〉

8月1日（土）

主な支援物資（飲料水及び食料等）

- ・飲料水：500ml × 約4580本 2000ml × 約1560本
- ・主食：アルファ米・レトルトパン 約4,170食
- ・副食：おかず（レトルト・缶詰）約2,700食

支援物資状況



物資の積み込み(7/29 名古屋港)



物資の荷降ろし(8/1 八代港)



八代市総合体育館にて引き渡し



〈給水支援〉

8月1日（土）～8月5日（水）

合計給水量：26台、約49m³

給水車両：自衛隊、自治体等（倉敷市、防府市、小松島市、福岡市、糸島市、筑紫野市、長崎市、日南市、那覇市等）

給水状況



給水箇所



防府市の給水車



自衛隊の給水車



糸島市の給水車

令和8年熊本地震『清龍丸』による災害支援報告

〈入浴支援〉

8月3日（月）～8月4日（火）

入浴者数: 173人(男性66名、女性107名)

船外の様子



浴槽



脱衣所



清龍丸への乗船状況



利用者の声

- ・はじめて、国交省さんの船に乗りました。乗組員さんに親切にさせていただいて、お風呂も最高でした。
- ・被災して、なかなかお風呂に入れなかった中、シャワーや温かい湯船にはいれて、とても気持ち良かったです。本当にありがとうございます。
- ・今回は、本当にありがとうございました。なかなかゆっくりお風呂入れなくて助かりました。ボディクリームなどもそろっていて、ドライヤーも久しぶりにかけることができ、ほんとうに助かりました。
- ・お風呂ありがとうございました。お風呂が温かく、シャワーも浴びることができ、シャンプー、リンス、ボディソープも揃っていて助かりました。ドライヤーもあってとても良かったです。

利用者の様子



待合室の様子



取材申込書

連絡先

E-Mail : pa.cbr-kowanbousai01@mlit.go.jp

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

港湾空港防災・危機管理課 西尾・林 宛

清龍丸の名古屋港帰港への取材を希望します。

プレス機関名

お名前

計 (名)

ご連絡先 (TEL)

ご使用機材等

(テレビカメラ等)

※取材申込書は申込期限までに回答先までメールをお送りください。

※申込期限：令和 8 年 8 月 7 日（金）18：00 必着

※駐車場所につきましては、現地の常駐職員の案内に従ってください。

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

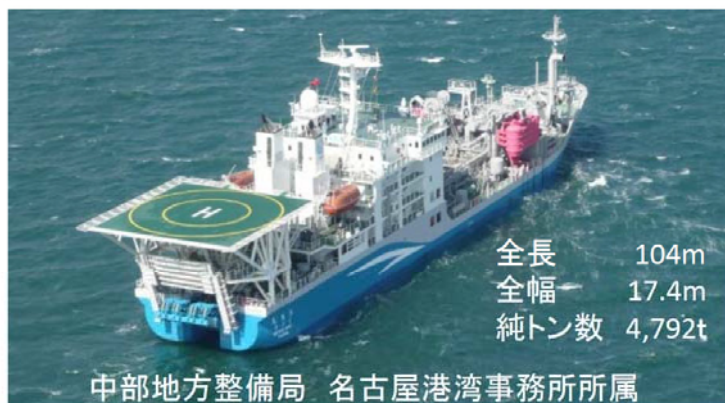
国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しており、その1隻である「清龍丸」は、大規模油流出事故に備えるとともに、平時は名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っています。

また、大規模な災害では、緊急支援物資の運搬や給水・入浴等の支援が可能な船であり、東日本大震災や西日本豪雨、平成28年の熊本地震でも支援を行っています。

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
- 高精度で平坦浚渫を可能とする幅広なセンタードラッグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時の支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
- 情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等を目的としてヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。

災害支援 災害支援機能

迅速な被災状況の把握、人員・物資輸送に対応可能。
ヘリコプターデッキや災害対策室、望遠カメラなど災害支援に必要な機器を装備。



地震・豪雨災害への支援実績

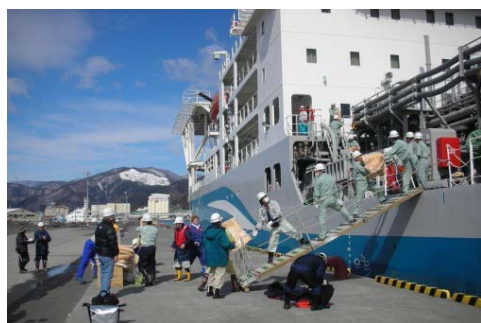
清龍丸の活躍

緊急支援物資(食料品、飲料水、生活用品等)を海上輸送。
船のタンクからの給水支援、船内浴室を開放した入浴支援。

平成23年 東日本大震災

平成28年 熊本地震

平成30年 西日本豪雨



釜石港にて支援物資陸揚げ



大分港にて支援物資を陸揚げ



堺泉北港～呉港へ
支援物資を輸送



苫小牧港～大船度港へ輸送



三角港にて入浴支援



呉港にて入浴・洗濯支援